

平成30年度第1回

睦沢町総合教育会議議事録



睦 沢 町

平成30年度第1回睦沢町総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成30年 7月24日 (火)
開会 13時30分 閉会 14時53分
2. 会 場 睦沢町役場 3階 308会議室
3. 出 席 者 睦沢町長 市 原 武
睦沢町教育委員会 教育長 今 井 富 雄
教育委員 飯 塚 史美代
教育委員 佐 藤 秀 文
教育委員 久 我 哲 也
教育委員 藤 原 雪 枝
(事務局関係)
総務課長 鈴 木 庄 一
教育課長 (歴史民俗資料館長) 白 井 住三子
教育課主幹 久 我 英 治
教育課副課長
(中央公民館長兼学校教育班長) 小 高 俊 一
教育課主査 (生涯学習班長) 岡 田 好 弘
教育課副主査 古 山 雅 敏
4. 議決事項 (1) 睦沢町教育振興基本計画の進行管理について
(2) 園小中一貫教育について
(3) その他
5. 傍 聴 人 1名

【 午前 13 時 30 分 開会 】

久我主幹 本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

只今より、平成 30 年度第 1 回睦沢町総合教育会議を行います。

進行は、教育委員会教育課 久我が務めさせていただきます。

始めに、市原町長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

市原町長 平成 30 年度第 1 回総合教育会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。厳しい暑さが続いております。教育長、教育委員の皆様におかれましては、日頃より、町教育行政の推進にご尽力いただき誠にありがとうございます。

さて、この総合教育会議は、教育行政の様々な課題に、首長と教育委員会が協議・調整する場で、今年度第 1 回目となります。

昨年度は、2 回の会議を開催いたしまして、小学校の再編や学校 2 学期制について十分な協議と意見交換をさせていただきました。本日は、「睦沢町教育振興基本計画」の進行管理を毎年度、行っているようでございますが、そこからみえた課題や方策について、意見交換をさせていただければと考えています。

また、町では、「睦沢町園・小・中一貫教育」の導入にむけて、睦沢町学校施設整備基本構想検討委員会を設置して検討を行っていますので、協議しながら教育委員会と同じ方向を目指して取り組んでまいりたいと考えています。本日も有意義な意見交換をさせていただければと考えています。よろしくお願いいたします。

久我主幹 ありがとうございました。

続きまして、今井教育長からご挨拶申し上げます。

今井教育長 皆さん、こんにちは、本日は、教育委員さん全員にお集まりいただき、市原町長さんと直接、町教育の課題を話し合い、さらに今後の方向性が話し合われますことを、教育長としても大変うれしく思います。

さて、昨年は、長い歴史を重ね多くの先人を輩出してきた土睦小、瑞沢小学校の再編に向けて、総合教育会議でも議論をさせていただきました。また、それに伴う 2 学期制やスクールバスの導入、コミュニティ・スクールの指定等様々なことも、この話題とさせていただきました。

睦沢小学校も開校して4ヶ月になります。前期前半を終了し、子供たちは夏休みに入りました。数えたところ44日の長い休みですが、安全に楽しく充実した日々を過ごしてほしいと願っています。また、中学校においても、部活動での活躍や英語検定においては、29年度3級合格者50パーセントの目標値を上回るなど、多くの睦沢中の生徒が充実した学校生活を過ごしているのではないかと推測できます。さらに教職員には、児童・生徒が自己肯定感を高め、より日々充実した学校生活が送れるよう、教育活動を進めていって欲しいと思います。そのためにも、教育委員会としては今年度、小中学校に校務支援システムを導入したり、夏季休業中に学校閉庁日を設けたりするなど、教職員の働き方改革に取り組み、側面から支援を行っているところでございます。教育委員会としても、さらに支援を続けてまいります。

本年度第1回目の会議でございます。昨年度の教育振興基本計画3年目の目標について進行管理を報告させていただきます。また、昨年度の終盤より、園・小・中連携教育から一貫教育について、教育委員会や園小中の教職員で教育内容面での一貫教育の捉え方を話しあっています。

本日、前段で申し上げました教育振興基本計画の進行管理及び園小中一貫教育についての現状及び今後の方向性につきまして、意見の交換ができれば大変うれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

久我主幹 続きまして、本日の出席者の紹介となりますが、資料の名簿をご覧ください、この名簿をもって代えさせていただきます。

それでは、本日の議事に移ります。議事の進行につきましては、睦沢町総合教育会議設置要綱第4条により、市原町長にお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

市原町長 それでは、議事進行をさせていただきます。

議題（1）睦沢町教育振興基本計画の進行管理について、事務局の説明をお願いします。

白井課長 お手元に配布の点検・評価報告書により説明させていただきます。教育委員会では、睦沢町教育振興基本計画の進行管理として、毎年度、重点施策毎の指標を基にしながら実績や達成状況を分析し、課題を整理しながら評価を行っております。そして、点検・評価につきましては、地方教育行政の組

組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、その結果に関する報告書を議会に提出し公表することになっております。本日、お手元に配布させていただきましたものは、平成29年度教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書でございますが、この内容につきましては、先の教育委員会議において取りまとめを行ないました。報告書をご覧頂きまして前段5ページまでは、教育委員会の委員の構成、会議の開催状況等でございます。6ページに総合評価として、文書でまとめてございますので、後程、ご覧いただきたいと思います。12ページから16ページまでにつきましては、基本目標、施策毎の実績値でございます。これらを基にいたしまして、4段階評価されたものが7ページから11ページでございます。委員会評価と外部の行政評価委員評価とでございます。本日は、この評価からみえてきた課題や今後の方策につきまして、特に外部評価も含めまして評価の点数の低かった3箇所を取り上げまして委員の皆様からいただきましたご意見も含めて、概略をご説明させていただきます。はじめに8ページの11番の体力の向上と学校体育活動の推進の項目がございますが、この評価の視点となる新体力テストの点につきましては、13ページをご覧いただきたいと思います。小学校3年生、小学校6年生、中学校3年生としておりますけれど、平成29年度の実績は、県平均よりどれも下回っています。なお、小学校3年生、中学校3年生は、平成28年度実績より下がっている状況でございます。現在、小学校におきましては、新体力テスト8種目ございますけれども、そのうちの7割が劣っている状況でございます。平成30年度から小学校では、スクールバスを導入いたしましてバスで通学している児童を考えますといっそうの体力の低下が懸念されるところでございますが、教育委員さんから教科体育や業間体育の充実を図ってほしいとの意見がございました。これらを踏まえまして、今年度、小学校での取り組みでございますけれども、体育の授業で運動量の確保に努めること、あるいは、授業の始まりに運動場を走る。そして、業間体育の活用で悠々ランキング千葉という県の事業になりますけれども、楽しみながら他の小学生と競い合う事業を導入しております。内容は、長縄跳びを実施して参加をしているところでございます。その他、家庭への啓発、あるいは部活動の参加を促しているところでございます。現在、

水泳部がございす。運動能力がある児童もいまして、肥満傾向の児童は少ない傾向にございすが、運動する機会が少ないことが要因にあるのではないかと学校側からの話がございす。今年度、学校計画の柱にも体力の向上を掲げてございす。中学校では、部活動が8種目ございまして、そのうち文化部が2つで運動部が6つでございす。現在、140名の生徒のうち運動部に加入している生徒は、100名でございす。また、文化部が30名で10名はどこにも所属していない状況でございす。運動部は、団体競技の継続が難しい状況でございす。昨年度、サッカー部につきましては、睦沢中だけでの出場ができずに長南中と合同で行った経緯もございす。柔道部につきましては、今年度、活躍をしておりますが、3年生が卒業してしまいますと部員がいらないような状況でございす。教育委員会側といたしましては、今年度、体育業務の委託を総合型地域スポーツクラブに行っていますが、内容の見直しを行いましてこども園の5歳児を対象に運動遊びを通して体力の落ちている部分をこども園と相談してカリキュラムを作り概ね週1回、運動公園のアリーナで専門の指導者により実施をしています。これらの取組によりましてすぐにはといきませんが、いずれ数値に改善が表れてくるものと期待するところでございす。

次に、9ページの14番目になります。子供たちの安全・安心の確保についてでございすが、ここの評価の視点は、学校の実施する安全教育に対する評価でございすが、教職員、保護者共に前年度より下回っております。委員の意見の中には、引き渡し訓練等の体制が不十分であるとの指摘をいただいております。また、園・小・中と子供を持つ保護者にとっては、引き渡しの時には、それぞれ離れた施設への迎えをしなければならない困難さもあげられていました。

そして、10ページの16番目になります。家庭教育支援体制の充実でございすが、こちらの評価の視点は、全国学力学習状況調査時に実施される児童生徒質問で前年度より小学校6年生も中学校3年生も下回っています。

「家の人と学校での出来事について、話をしていますか。」との問いでございすが、家族とのコミュニケーションが少なくなっている。また、家族や親が学校に対する関心が少なくなっている傾向があるようでございす。そ

して、家庭教育の支援につきましては、教育委員会では、家庭教育学級を開催していますが、内容の充実やP T A活動における家庭教育に対する働きかけ等の推進が今後、望まれるところでございます。

以上の内容につきましては、園・小・中学校の園長・校長にご報告をする予定でございます。以上でございます。

市原町長 事務局の説明が終わりました。

それでは、意見のある委員の皆様はお願いします。

久我委員 運動に関してでございますが、体力向上を目指してはありますが、近頃、かなり気温があがっていますので、「外にでて運動しなさい。」というのは、運動を推し進める側も言葉に責任が伴ってきます。どうしたら、安全に運動することができるかを考えていかないといけないと思います。これからは、暑くなっていく一方だと思われるので、外にでて体力づくりを行い一人、二人倒れてしまったら止めてもらいたいという父兄がでてくると考えられます。熱射病になる基準として、気温が28度以上で湿度が85パーセントを超える時が危険だといわれています。継続的に運動するには、室内でできる環境を作っていくといけないと思います。体育館に冷暖房を整備するとか、人数も少ないので、運動できる環境を整えていただきたい。そうすると、環境の良い日は、外に出て、暑い日は、室内という状況を作っていけば良いのではないかと思います。

市原町長 ありがとうございます。それこそ、今、この暑さも一つの災害だとの話もあり、世界では平均1度以上の温度の上昇があり、東京では3度上昇したといわれています。これから、できれば学校施設の更新に向けて検討していきたいです。

佐藤委員 はじめに、中学生の英語検定結果が12ページにもございますが、昨年度については、前年度の3倍の合格率で目標を大きく上回り大変すばらしい結果でした。検定の合格だけがどうのこうのでは、ございませんが、やはり、先生と町の援助がうまく連携して数値が上がったのだと思います。また、この調子で数値がどんどん上がっていくことはないと思いますが、少しずつでも上がっていけば良いと思います。

次に、体力の関係でございますが、これだけ暑い時期は無理ですので、夏

休みがあけて9月にも残ると思いますので、無理をしないでもらいたい。特に睦沢町の子供だけが体力が低下しているわけではございませんが、昔の子供たちは、学校に行き授業が始まる前に遊び、放課後も遊んでいましたが、今は時間が無いと思いますので、先生方がカリキュラムをどのように工夫するかだと考えますので、学校に要望をしたいです。以上です。

市原町長 ありがとうございます。他にいかがですか。

藤原委員 20番目の伝統文化の振興と伝統文化の継承のところで、7月14日に伝統芸能発表会がございましたが、佐貫区は、来年度の1年生の参加人数がピークとなり衣装が足りなくなりますが、その後は、毎年1人から2人の参加人数になっていきます。今年も、子ども会の総会の報告の中で岩井・小滝・河須ヶ谷が子ども会の活動を休止しています。そうしますと、伝統芸能を継承していくのも区だけですと大変ですが、他の区から参加するのには、補助等のからみもあり子ども会だけでは、難しいです。町全体で考える必要があるのかなと思います。

また、体力の問題で今朝のテレビで足立区では、室内でボルタリングが無料でできたりして魅力的でした。それから、町には、プールがございますので、1年間継続して利用できるように温水プールにすることも考えられます。

市原町長 伝統芸能を引継いでいくのは、課題だと思います。地域固有のものではありますが、地域のものだけにしてしまいますと途中でとぎれてしまいますので、全町的に取組んでいかなければいけないと考えています。一時期、大上で違う区の方が入っていたとの話もありましたが、そういう時代ではなく町全体として保存していくのだという意識改革が必要ではないかと思います。また、埼玉県越生町と行政間で交流を始めましたが、6町内会がございまして山車がございましたが、睦沢町にも山車がございまして大上の菅原神社にあります。その山車で走っていたのがお囃子でございました。資料館の下に保存してあります。町全体で保存していく方法を考えていきたいと思えます。また、子供たちの体力についての問題ですが、この時期にできるものを考えられないといけないと思いますが、先日、湯沢町を視察いたしました。保小中の施設があり、壁にボルタリングの設備がございました。これから、町でも施設の建築に向けていろいろなことを検討しながら子供たちにとって

良い環境を作れたらと考えています。

今井教育長 体力の低下についてですが、小学校、中学校に限らず睦沢町の町民みんながスポーツに親しむという意識が低い結果がでていいますので、教育委員会としては、基本計画の中に審議会を作っていくという取組みもごさいますが、スポーツ関係団体の会議を開催してスポーツに親しむにあたり、どのような取組みができるのか町全体の関わりを考えていけたら良いなと考えています。

市原町長 体力の後には、健康長寿があります。農村部は、農作業を行うのでお年寄りが丈夫なのかなと思っていましたが、都市部の方が公共交通機関を利用しますので、都会の3分の1くらいしか歩いていません。そのようなことで、1日9,000歩を歩こうということで、私も朝5時から1時間ほど歩いています。6時からですと大汗をかいてしまいます。子供のうちから体を動かすことを習慣化できたら丈夫で長生きできるのではと考えます。実は、総合運動公園に町の電力会社の利益で機械を購入しました。250万円近くしますが、この機器は自ら負荷をかけなくてもひとりでに動きますので、私も参加をさせていただき結果を見てみたいと思います。学術的には、JAGESの学会では、分析をしています。他にございますか。

飯塚委員 私が気になった点は、英語教育と体力でございます。英語教育については、補助金の影響があったのかはわかりませんが、2倍以上の英語検定の合格率の成果がでていいます。それに比べて体力の結果は、残念でございしますが、私も運動公園の方で手伝いをさせていただいておりますが、夏場はプログラムを考えて無理のない内容にしています。しかし、教室を開催しても、年々参加者が減っていますので、親の意識も変わってきているのかなと思います。

久我委員 一年を通して運動できるものは、どのようなものがあるか考える必要があります。

藤原委員 保護者が共働きをしていますので、放課後に校庭開放があれば遊べますし、交通手段があればパークむつざわ等での教室に通うこともできます。

久我委員 私が提案できる運動としては、一輪車があります。一輪車は、みんなが乗れましてバランスが必要になります。一輪車がないと誰もできませんが、短時間で全身のバランスと筋肉が養われます。

藤原委員 瑞沢小学校では、休み時間にみんなが取組んでいましたが睦沢小学校では、一輪車が昇降口にございますが取組みにくい状況のようです。

市原町長 学校の近くに運動できる環境があれば、子供を送迎しなくても終ったら向かえにいけば良いのかなと思います。

藤原委員 公民館の近くであれば、学校が終った後に勉強することもできます。学べる環境を作ってあげることも大切だと思います。

市原町長 今後、学校施設の検討を進めてまいります。他にございますか。

白井課長 先程、教育長よりお話がありましたスポーツの関連する団体が集まりまして、横の連携を図る会議を先日の日曜日に実施したところでございます。その中の意見で中学校長からは、この暑さで熱中症計がございすが危険な数値がでているので部活動をやらせるのはとの声もありました。他の事例では、朝7時から9時まで実施しているところもございします。そして、一輪車の話ですが、睦沢小学校にも一輪車がありますが活用されていない理由として、遊々ランキングに力を入れているからかもしれませんので確認をしたいと思います。スポーツ関連団体のそれぞれができることの中でふれあいスポーツクラブに大きなトランポリンがございしますが、指導者がみつからなく活用できていせんが、今年度、帝京平成大学の先生がご協力をいただいけそうな話をいただいけています。また、スラックラインも昨年度にイベントとしてプロの方を呼び実施をさせていただきました。スラックラインは、町内にできる方もいます。スポーツ関連団体がつながる中でいろいろな仕掛けができていると考えていますので、この会議を続けさせていただきます。そして、伝統芸能については、睦沢小の田植えを行なった際に佐貫きよせのおどりを今までは、瑞沢小のみで行っていましたが、伝統芸能として睦沢小でもご披露いたしました。少しずつ壁が取れていって町全体的なものになっていけば良いかなと考えています。

市原町長 他にいかがでしょうか。

それでは、学校施設整備基本構想の策定に向けて来年の3月には、問題点、進むべき方向が示されますので、皆さんの意見、住民の意見を踏まえながら最終的には議会に諮り方向性を決めて進めてまいりたいと思っています。

それでは、議題（2）園小中一貫教育について、事務局の説明をお願いし

ます。

白井課長 園小中一貫教育の推進スケジュール（案）により説明をさせていただきます。昨年の7月に教育委員会では、教育振興基本計画の見直しを行いました。30年4月の睦沢小学校の開校により、園小中各1校となることからこれまでの連携教育から一貫教育を目指し、0歳から15歳までの連続した質の高い教育を施すために町部局と連携をとり調査研究に取り組むことを明記したところでございます。昨年の8月2日に総合教育会議の議題とさせていただきました。学校の老朽化や耐用年数を考慮した中での早い段階での学校施設の建設が必要であり、保護者や地域住民から望まれているとのことで昨年度に睦沢町学校施設整備の検討が始まったところでございます。学校施設の整備につきましては、基本構想の策定に向けた資料の洗い出しから基本計画、実施計画、業者の選定から用地取得、設計、建設し開校に至るまでは年月が必要となりましてロードマップが描かれるところでございますけれども、教育委員会といたしましては、現時点から取り組むべき園小中一貫教育のソフト面につきましての熟議を重ねまして、教職員、保護者、地域住民が同じ方向を向いて目指す子供たちの姿を共有し社会総掛かりで睦沢町の子供たちを育てていけるよう取り組んでいるところでございます。本日は、関係機関との歩調も含めたスケジュールについて概要を説明させていただきます。教育委員会、教育委員会会議、教育委員会協議会とございまして、協議会につきましては、調査又は研究を要するものがあるときに招集をして実施しているものでございます。町教育振興会は、園小中の教職員で組織するものでございます。そして、基本構想の検討委員会が設置されております。そして、議会がございまして、保護者、住民、そして総合教育会議に区分をしております。先ず、教育委員会の関係でございますけれども、教育振興基本計画の見直しを行いまして議会に報告をし、教育委員会の協議会におきまして、これまで一貫教育の類型や施設形態についてメリット、デメリット等の知識を掘り下げまして委員の皆様で共通認識をしてきたところでございます。そして、6月、7月にかけては、園小中学校の教職員への一貫教育についての説明をいたしました。6月には、袋井市の視察を行いました。また、基本構想の検討委員会の委員で湯沢学園を視察しております。そして、先日ですが、協

議会におきまして、睦沢町園小中一貫教育の基本方針を作り、対外的に公表できるようにしていく検討に入ったところでございます。そして、8月19日に一貫教育講演会を千葉大学の特任教授でございます天竺 茂教授、そして、教育施設の専門家でございます千葉大学大学院工学研究教授の柳沢 要教授をお呼びして睦沢ゆうあい館で講演をお願いすることになっております。保護者に通知をしてございます。そして、広報誌により周知をする予定でございます。「睦沢町らしい学校」のあり方、とはどのようなであってほしいのか。地域として「どのような学校」であってほしいのか。サブテーマとしてどのような子供に育ってほしいのか。あるいは、どのような施設であってほしいのか。このような視点でワークショップを開催する予定でございます。そして、ワークショップにつきましては、コミュニティ・スクールの中に学校運営協議会の組織がございますが、この中でも住民の方々の意見とかを聴く機会があった方が良好との計画もございますので、今回は両方の趣旨がありまして開催するものであります。そして、8月21日でございますけれども、園小中教職員の町教育振興会におきまして、ワークショップでどのような子供たちであってほしいのか。義務教育の終る15歳の姿がどのようなであってほしいか。教職員を対象にワークショップを予定してございます。そして、意見を反映しながら基本方針の検討を教育委員会としては、続けてまいります。9月に先進地の視察ということで南房総市の富山学園を予定しております。そして、8月のワークショップの状況をみながら10月上旬に2回目のワークショップを検討しているところでございます。そして、基本方針の案を固めてまいりまして11月に総合教育会議にその案をお示しいたしまして町部局と意見交換をさせていただきます。そして、見直しをしながら12月にはパブリックコメントということで公表をいたします。また、平行して議会の方に経過報告をさせていただきます。最終的には、年度末前の2月頃に基本方針を決定していきたいと思っております。この基本方針がこれから検討されていく学校施設整備基本構想の大きな軸となっていくと思われるので、十分な熟議を重ねながら進めてまいります。以上でございます。

市原町長 説明が終わりました。

学校施設整備基本構想の検討業務ということで業務委託をしていますが、

その会議の中で、睦沢町の教育委員会としてどのような方向にしていきたいのか示していただき、それについてのどのような形が良いのか検討していきたいと考えています。

そのような中で、一般の住民にとっては教育の中身について関心のある方は少ないのかなと思います。最終的には、学校をどこに建設するのが一番メインになってくるのかと考えています。特に上市場、川島地区に人口が密集して住んでいますが、上之郷地区には教育施設が集中してあります。地理的な中心は、上之郷地区が中心かなと考えますので、現在ある学校の場所と教育関係の施設のある場所と2分されるのかなと思います。十分な検討課題がでた中で掘り下げていけたらと考えています。委員会としては、基本方針を決定していくことを含めて、意見のある委員の皆様をお願いします。

久我委員 同じ敷地の中に小中があるのは、長南町ですが、ほとんど交流がない状況であるとのこと。睦沢町は、どのようにするのは考えることにして、子供たちが中学1年生になってわからない問題があってもすぐに小学校の先生に相談ができると思われ。教えられるかという問題ではなくて、子供たちがいきいきできる環境であればメリットがあると思います。一貫校として睦沢町での9年間あるいは15年間を過ごす中でどういった特色を持って高校に進学するのかを考えた時に「右脳教育の町」の方向性を考えてみたらどうか。私の医院では、左右でけん玉を行います。そうすることにより、右脳が使えることでストレスを受けにくい環境になります。次の一步を踏みだせます。ビジョンを創れるようになります。左脳教育を受け、企業に就職して働いていますけれどもそのような時代ではなくなってきました。その中で一貫してどのような人間性を作っていくのかプログラムがないと一緒にしただけになってしまいます。これから2学級を継続するには、睦沢町の出生率を考えどの位の方が転入してもらいたいのか目標をもっていかなければならないと思う。

今井教育長 これからの時代は、知識と理解だけでなく汎用性のある知識・能力を考えれば、これからはそれを考えた睦沢教育を進めようと考えています。

22世紀の元を創るのが今の子供たちだと考えています。

市原町長 これから20年後、30年後は今ある仕事の様変わりするといわれてい

ます。7割の仕事がなくなってしまうといわれていますので、人工知能などのコンピュータが入り変わってくると柔軟な発想が必要になってきますので、15歳の姿をどのような形にするかを考えていかないといけないと思います。町では、子供たちが通う器を作りますので、中身をどのようにするのかは教育委員会と思いますが、ばらばらの方向ではいけないので総合教育会議で協議をしながら同じ方向で進んでいきたいと思っています。園小中が1校ずつですので、一緒に勉強できるチャンスですので、私としては義務教育学校ができてくると良いのかなと思います。どのような形でも対応できる施設を作っておきたいと考えています。

藤原委員 子供たちにとって良い環境であってほしいので、AI等が普及することにより先生の関わりも変わってくると思われますが、子供たちがそこで学びたい場所であり、先生たちがそこで教えたい環境を作ってあげたいです。安心・安全を考えた時に災害等を考えた時に安全な場所がほしいです。こども園・小学校・中学校が別ですと3箇所に迎えにいかなくてはならないので、一緒であれば中学生が下の子供たちをみることも可能だと思います。

市原町長 いろいろな検討事項がでてくると思われますが、施設の建替えを考えた上で一つにするのに良い時期ではないかと考え、小学校は40年、中学校は50年を経過しているので去年の9月議会で学校施設整備検討業務を補正予算として提出しました。その際に議員からは、来年の4月でも良いのではとの意見もございましたが学校に子供たちを預けておけば安心という環境を作りたいと考えました。

飯塚委員 一貫教育の中身を充実した良いものにしたいと考えています。

市原町長 学校の先生が多忙化していますので、コミュニティ・スクールが充実した地域の学校として学校を応援するような形をとっていければと思います。先生の良い環境を作れるように県にも要望をしていきたいと考えています。他にございますか。

続いて(3)その他について何かございますか。

藤原委員 コンビニエンスストアが町内に2店ございますが、成人誌を販売しています。今年度からミニストップが全国で販売を自主規制しています。町内にありますストアが住宅街で道の駅も建設されます。ローソンは加盟店に任せ

ているとのことですので町としてお願いはできないのですか。

市原町長 現在、上市場にもコンビニエンスストアの誘致を考えていますので検討させていただきます。

小高副課長 有害図書につきましては、千葉県青少年健全育成条例において設置場所等について規定をしております。本町の教育振興基本計画においても有害図書について明記しておりますので、近隣の状況を確認し検討していきたいと考えています。また、千葉県の第3次青少年総合プランが平成30年度よりスタートしていきまして、その中に子供・若者を守る環境整備で環境の浄化も盛り込まれていますので取り組んでいきたいと考えています。

市原町長 他にございますか。

(なし)

それでは、議事がすべて終了しましたので、議長をおりさせていただきます。
ご協力ありがとうございました。

久我主幹 ありがとうございました。以上をもちまして平成30年度第1回睦沢町総合教育会議を終了いたします。お疲れ様でした。

【 14時53分 閉会 】